

3) 高井戸東小学校通学区域

(1) 地域の概要

○所在地・地形・土地利用

- ・区南部に位置します。
- ・神田川沿いの台地よりやや下がった地域です。
- ・主な土地利用は低密度な住宅地及び大規模な民間等のグラウンドが点在しています。
- ・緑被率は25.97%と比較的高い値を示します。
- ・避難場所となるオープンスペースもあり、災害時の危険度は比較的低い地域です。

○みどりの構造

- ・地区東よりの塚山公園・(仮称) 杉並南中央公園は「みどりの拠点」に位置づけられています。
- ・神田川は「みどりと水の空間軸」に位置づけられています。
- ・玉川上水は「みどりと水のプロムナード軸」に位置づけられています。
- ・環状8号線、放射5号、中央高速自動車道、甲州街道は「みちのみどり軸」に位置づけられています。
- ・神田川流域に大規模な民間等のグラウンドの集積、まとまった樹林地が見られます。

○計画等

- ・(仮称) 杉並南中央公園
- ・補助幹線道路215号(幅員16m)
- ・神田川流域の杉並南部区画整理区域(旧緑地地域)

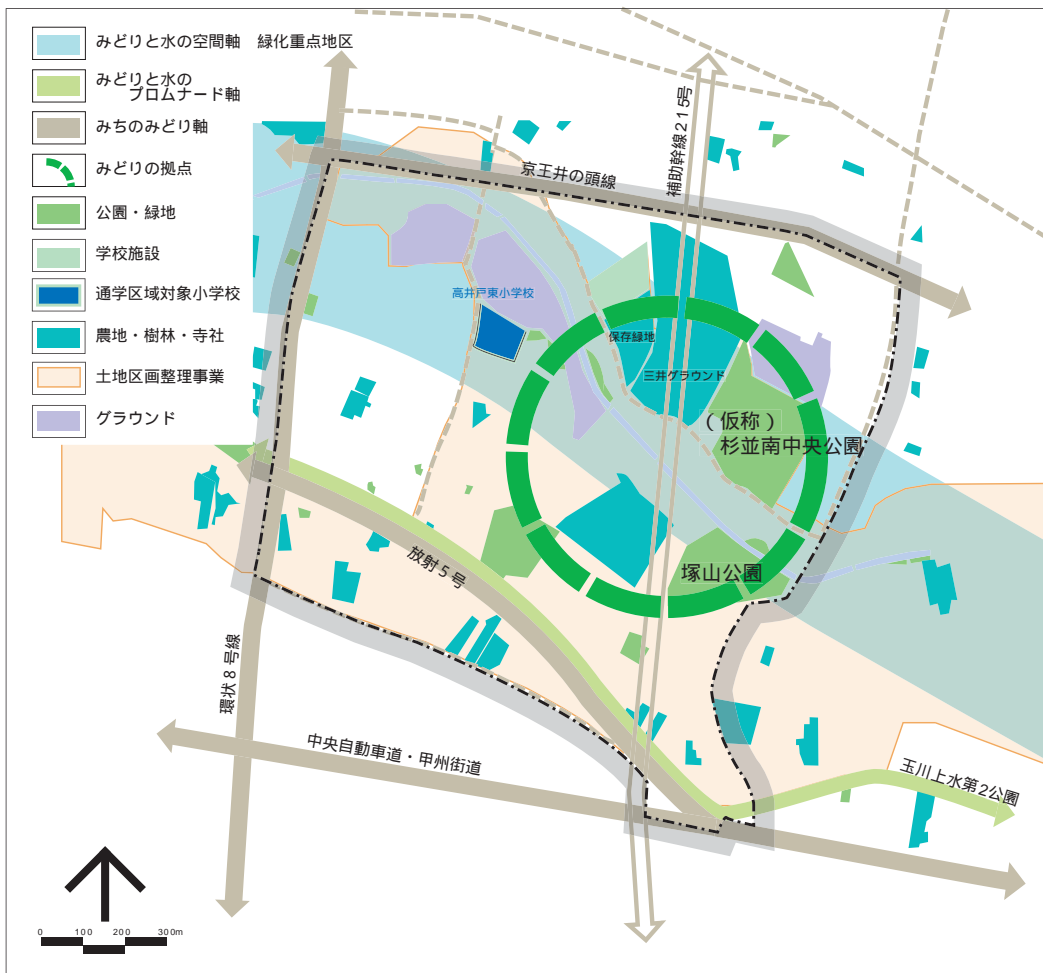


図-14 地区の概要

(2) みどりの要素

- 塚山公園…………… 神田川と鎌倉街道に面した縄文遺跡と雑木林の保全を中心とした公園。池、花壇、生垣見本園、雑木林などがあり、昆虫生息には良い環境です。近年の過度の立ち入りや野生植物の盗掘などによる、林内の貴重植物や昆虫の減少が危惧されています。
- (仮称)杉並南中央公園…………… 旧興業銀行柏の宮グラウンド跡地は全域区立公園として整備が進んでおり、園内に残る雑木林を中心に自然的環境の回復が図られ、プールは水生生物の池になります。
- 保護樹林…………… 三井グランド西側のクヌギ、コナラ、アカシデなどの雑木林は、林内の一部を除き、アオキ、ヤツデなどを除去し希少な草本類や雑木林の主要構成種を残す林床管理を行っており、昆虫や鳥類の生息種類数や個体数が多い。林縁・草地性のモズ、ジョウビタキや、樹林性のコゲラ、シロハラ、シメが見られます。
- 神田川…………… 三鷹市の井の頭池を水源とし、区南部を東へ流れる。河川改修による三面護岸化で一時水質汚染が進んだが、現在は植え樹植栽による抽水植物などが繁茂し、区内のトンボの種類数を増加させた一因と考えられます。川の両岸にはソメイヨシノの並木の遊歩道が整備され、道に接して近隣住民の手による四季の花壇が点在しています。
- 民間等のグラウンド…………… 官庁・企業のグラウンドが集積。用地内の雑木林はあまり管理がなされていません。
- 幹線道路…………… 環状8号線・放射5号・甲州街道は街路樹があります。
- 農地…………… 放射5号の南北に農地が点在しています。
- 樹林…………… 三泉淵緑地の雑木林には区民管理による山野草園があります。

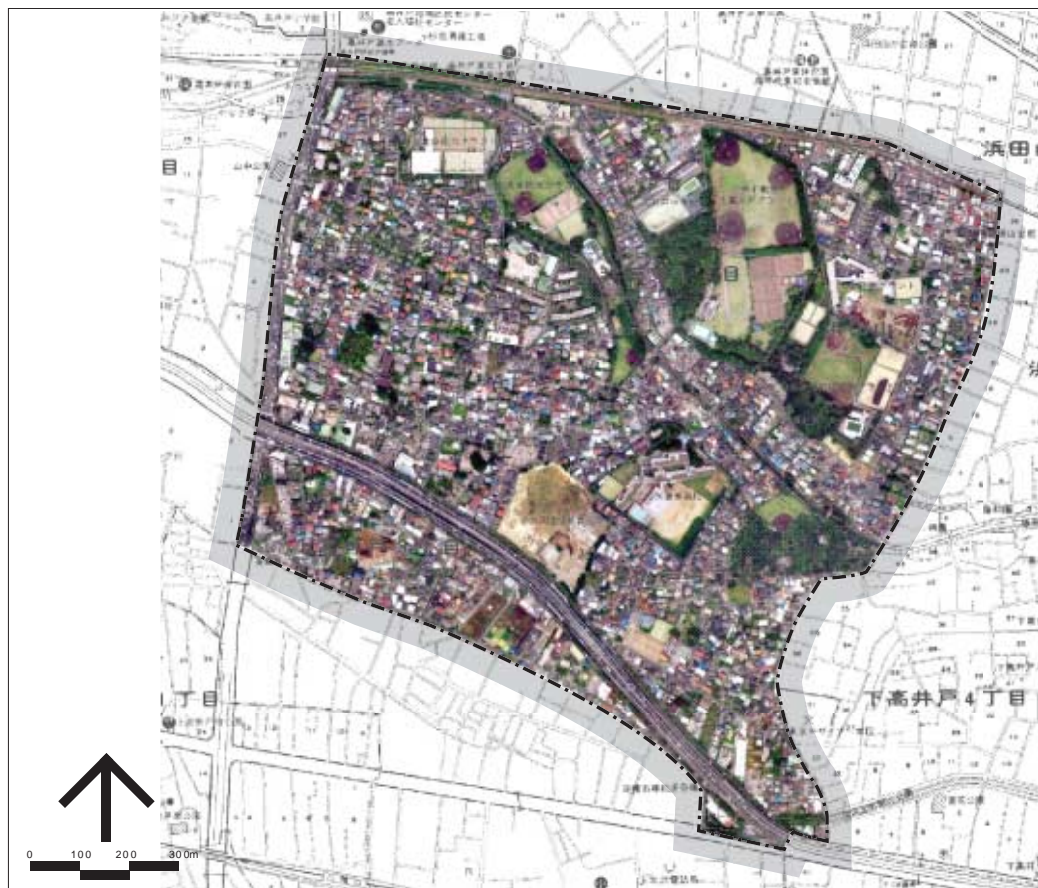


図-15 航空写真(平成14年撮影)